

# 次世代につなぐ 草の根の国際交流・国際協力

## 龍谷大学 春季海外体験プログラム ～みんなで考えよう、アフガニスタンのこと～

2022年2月5日(土)、龍谷大学深草キャンパスにて、アフガニスタン女性支援プロジェクトEJAADの活動紹介をしました。参加した学生は、農学、工学、経済学などさまざまな分野から。中には「実家のお寺を継ぐので、世界平和について学びたい」という声も。皆さんとても熱心です。

カブールの現地スタッフとオンラインで交流する機会も作りました。学生からの「今、日本の学生に伝えたいことは何ですか？」という質問に、現地代表で元大阪大学留学生のアブドゥルさんは「しっかり学んでどんどん外国へ出てほしい。まずは英語をがんばって！ぜひアフガニスタンに来て力を貸してください」と。

本来ならフィールドワークで海外研修に出かけているはずの学生たち。刺繍作品を見ながら若者向けの商品開発も考えてくれました。2023年2月には、カフェ・サパナにてアフガニスタン料理を食べながら、第2回目の海外体験プログラムを予定しています。(TIFAアフガニスタン女性支援プログラム)



## TIFA国際子どもデイキャンプ2022 留学生・大学生が大活躍！

TIFA国際子どもキャンプは、地域の小学4年生～中学3年生を対象に2007年から毎年実施している活動です。

2022年11月3日(祝)、大型バスに乗って豊中市立青少年自然の家「わっぱる」へ。参加者は、子ども31名、外国人リーダー9名(9カ国)、大学生ボランティア6名、TIFAスタッフ5名、看護師1名の計52名です。

わっぱるに到着後、3グループに別れてリーダーからそれぞれの母国の文化や言葉、遊びなどを学びました。日本の大学生はサポート役。子どもたち全員が楽しめるように気を配ります。大阪大学のお兄さんがなかなか馴染めない小学生に寄り添ってくれていたのが印象的でした。外国人リーダー手作りのお菓子や飲み物も好評で、「また来るね！」と帰っていった子どもたちの顔は晴れやかでした。

留学生と大学生が中心の多国籍チームは若い熱気にあふれていました。さまざまな国の若者たちと交流できるこのキャンプは、子どもだけでなくボランティアの若者にとっても貴重な体験となったことでしょう。



## 祖国の料理からひろがる 交流の輪

最高の時間というのは、おいしい料理と一緒に皆でテーブルを囲んでいる時です。集まって食事することでお互いに心を通わせられます。食事は最も実用的で普遍的な愛の表現方法だと思うのです。「インターナショナル・カフェ」という言葉を初めて聞いたとき、自分が母国の料理を毎月作るようになるとは思いませんでした。でも、毎日異なるシェフが様々な国の料理を作り、人々が異文化を体験し、有意義な会話ができる「サパナファミリー」の一員になれて、とても嬉しく思います。

異なる国、異なる大陸で生活することには、良いことも悪いこともあります。最終的には誰でもホームシックになり、故郷の味を思い出すものです。私の場合もそうでした。同じ食材を手に入れることは場合によっては困難ですが、「一流の料理人は水があれば料理ができる」と言われるように、代用品を見つけ、手元にある食材を最大限に活用することが大切です。遠い国の料理や味を再現するのは大変なことです。その分、お互いに満足できるものが出来上がります。

私は家庭料理は得意でしたが、レストランで働いた経験はありませんでした。でもここで料理の腕を上げ、日本語が話せるようになり、新しい友人もできました。自国の料理への愛情を皆で分かち合いながら、楽しく過ごすことができるのは幸せなことです。これからもサパナで皆さまとお会いしたいです。(ゲルゲイ・ラースロ・ベンズ)



サパナでシェフとして活躍しているハンガリーからの留学生ゲルゲイさん

## TIFAカフェ・サパナ

☀️ **日替り・国替りサパナランチ** 平日  
11:30～14:00頃(売切れまで)  
900円(税込)ドリンクは+100円

☀️ **サパナ弁当** その日の料理をテイクアウトできます。1食650円～  
(なるべく事前にご注文ください)

☀️ **レンタルスペース**  
(平日夕方以降、土日祝)

お気軽にお問い合わせください。

TEL: 06-6840-1014

メール:

tifa99@nifty.ne.jp



Sapana facebook